



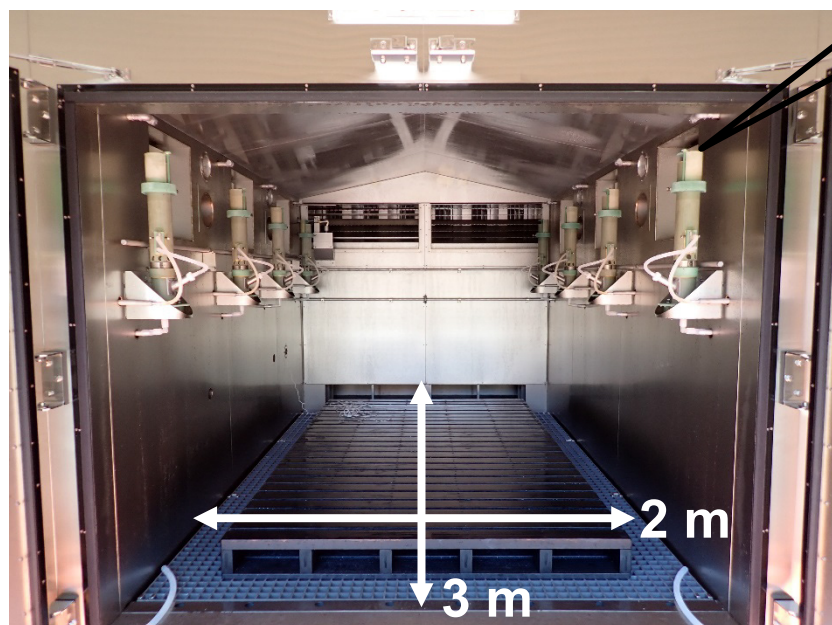
大型電池などの発熱体に対応した 複合サイクル腐食試験 (CCT)

電池の温度を試験中もモニタリングし、異常発熱時はシャワーにより冷却いたします。

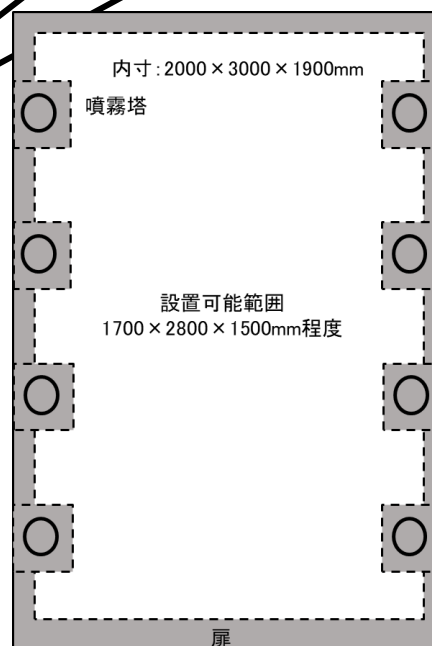
設備仕様と対応サイクル

- 掲題のCCT試験機は、サンプルに専用の熱電対を貼り付けることで異常発熱を検知し、それに連動して試験停止、同時に作動するシャワー機構を備えることで、異常発熱時はシャワーにより冷却します。これにより異常発熱時のリスクを管理した状態でCCT試験を実施できます。装置の耐荷重は1500kg(専用パレット含む)であり、大型電池にも対応しています。
- 対応サイクルは、JASO M 609-91、JASO M 609-24 (A法、B法/塩水噴霧法)、JIS C 60068-2-52、JIS K 5600-7-9、などに加えその他国内自動車メーカーの独自サイクルにも対応しています。-20℃の低温条件も実施可能です。

項目	仕様
装置名称	複合サイクル腐食試験機 (スガ試験機製)
試験槽内寸法	W 2000mm × D 3000mm × H 1900mm
噴霧塔	8基 (槽内左右に4基ずつ) 壁掛けタイプの噴霧塔のため、大型の電池にも対応可能です
異常発熱時の冷却機構	シャワーによる注水方式 噴霧塔の上部に噴射口 (異常発熱検知時に一斉噴射)
温度範囲	噴霧 25~50℃ 乾燥 20~70℃ 湿潤 25~70℃ 低温 -20~20℃
耐荷重	1500 kg (専用パレット含む)



大型電池などの発熱体が試験可能な複合サイクル腐食試験 装置外観



試験機内の設置可能範囲模式図



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2026 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

